

# 平成28年度 新潟市道徳部 活動報告

部長 熊倉 史記（巻北小）

## 1 研究主題

**他者と共によりよく生きようとする子ども  
～多面的・多角的な思考を促す道徳授業を目指して～**

## 2 研究の概要

研究主題を具現化するために、児童が多様な考え方や感じ方に接しながら、他者との対話や協働を通して課題解決していく場面を設定する。この場面において、多面的・多角的な視点での検討を促すことで、道徳的な価値への理解が深まり、道徳性の高まりが期待できる。そのために、①意欲的に学習するための学習課題の設定、②多面的・多角的な思考を促す指導法の工夫、③道徳性の高まりを自覚するための教師の働きかけ3つの視点から手立てを講じ授業づくりを行った。

## 3 研究の実際

- 5月 道徳部役員会・研究計画の検討
- 6月 全員研修 ・研究計画の提案と意見交換，授業者の決定と役割分担
- 7月 全員研修 ・講演会  
講師 東山の下小学校 校長 吉原 修英 様  
演題 「～実感を伴った理解を促す授業づくり，  
多面的・多角的な検討を促す授業づくり，評価～」
- 8月 全員研修 ・講演会  
講師 山形県朝日町立宮宿小学校 教頭 佐藤 幸司様  
演題 「その道徳授業には 教師の思いはありますか」
- 9月 指導案検討 ・提案者 5年 大竹 直志（東山の下小）  
・指導者 渡邊 泰治（早通南小）（新潟市マイスター）
- 11月 研究授業 ・授業者 5年 大竹 直志（東山の下小）  
主題名 「共に生きる」  
・指導者 尾身 浩光 校長（小瀬小）
- 12月 研究授業 ・授業者 1年 樋浦 貴裕（白山小）  
主題名 「正直に話して伸び伸びと生活しよう」  
・指導者 金塚 一明 校長（根岸小）
- 1月 全員研修 ・「私の道徳授業」実践報告会（今年度で13年目となる。）
- 2月 道徳部役員会・来年度の研究，組織についての検討

## 4 成果と課題

- 2回の講演会を通して、「多面的・多角的な思考」の捉え方、「実感を伴った話合い」の仕方，論点を明確にした「考え・議論する」授業の進め方など，具体的な授業像が明確になった。また，授業をより心に響く時間にするために，講師の先生方の豊富な実践を通して，教科化に応える授業づくりに向けたヒントを得た。
- 5年生研究授業は，NHK「オン・マイ・ウェイ」の動画を自然愛護の教材とした授業を行った。現代的な課題を扱う際，観念的な話合いにならないような授業展開が話題となった。どんな価値を検討させるのか見通しをもつことの重要性を認識した。
- 1年生では，資料を自作し，正直・誠実の授業を行った。子どもが追求したくなる学習課題の作り方や板書による可視化と焦点化などが協議された。役割演技の機能「①分かる②伝える③できる」において③が教科化では大事なることを確認した。
- 実践報告会では，教科となる道徳の授業の要件についての話合いがなされた。